



2006年1月入職

いなば なおこ
稲葉 由子

思いやりについてゆっくり考える時間が持てた

人と接するのが苦手だった私が看護師に

子供の頃、親戚に看護師がいて、いつも忙しく苦勞が多そうで、看護師だけにはなりたくないと思っていました。おまけに私は人と接するのも苦手、そんな私がいま看護師になっているなんて、人生は不思議なものだとつくづく思います。

前職は病院勤務で、透析の経験もありました。善仁会の腎クリニックに勤めて4年ほど経ちますが、現在の職場には私より年上や透析のキャリアが長い看護師が沢山いて自分はまだまだだと思っています。

そんな中で思いやりエキスパートナースを受験することになりました。筆記試験から最終面接に至るまで、常に「思いやり」について考え通しました。多くの患者さまの中にはなかなか心を開いていただけない方、時に感情的になられる患者さまもいらっしゃいますが先入観を持たず、冷静に自分を見直し、本音で向き合うことで最終的に良い関係を築けるようになります。このような体験を通じて、患者さまの思いに近づき、患者さまに寄り添っていくような看護ができればいいと思う、というようなことを試験で表現しました。

常に透析室全体を把握するスタンスで臨みたい

エキスパートナースになった以上、これからの自分の行動は患者さまにもスタッフにもよく見られます。そのことを自覚して100点は無理にしても、常に最善の対応を心がける責任があると思っています。そしていつも原点に戻り、行動を振り返る。求められているのは自分のことだけでなく、透析室全体を同時に把握することであり、患者さまだけでなくスタッフ全員に気を配り、良き相談相手になっていくことだと思います。



いつも笑顔と忘れず、
患者さまのことを第一に考え行動し、
患者さまの良き理解者となる看護師に
なりたい。

稲葉 由子